

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 31 年 2 月 28 日(再提出)
主管学校名	大阪教育大学附属幼稚園
P T A 会長名	生野 照将

実施概要	主管校	大阪教育大学附属幼稚園
	交流校	大阪教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	(1) 畑の草取り、畝づくり (2) サツマイモの苗付け (3) タベのつどい (4) ふようバザー (5) P T A クラブ発表会及び学校見学 (6) 焼き芋大会 (7) すもう会
	実施日時	(1) 平成 30 年 5 月 (2) 平成 30 年 5 月 (3) 平成 30 年 7 月 21 日 (4) 平成 30 年 9 月 8 日 (5) 平成 30 年 10 月 1 日 (6) 平成 30 年 12 月 6 日 (7) 平成 31 年 2 月 26 日
	実施場所	(1) 大阪教育大学附属平野小学校 (2) 大阪教育大学附属平野小学校 (3) 大阪教育大学附属特別支援学校 (4) 大阪教育大学附属特別支援学校 (5) 大阪教育大学附属特別支援学校 (6) 大阪教育大学附属幼稚園 園庭 (7) 大阪教育大学附属幼稚園 遊戯室
	実施目的	特別支援学校の生徒および保護者と附属幼稚園の園児および保護者が交流することにより、園児と特別支援学校の生徒が互いに需要と供給の関係を築き自他の心を育み合い、思いやる心などを養える場となって欲しい。
	実施内容	(1) 特別支援学校の生徒と大阪教育大学附属平野小学校の畑で、草取りなどの作業を経て畝作りを行う。 (2) 特別支援学校の生徒とサツマイモの苗付けを行う。 (3) 特別支援学校 P T A 主催の夏祭り「タベのつどい」に園児と保護者が参加する。 (4) 特別支援学校 P T A 主催の「ふようバザー展」にて販売するバザー一品の募集と提供を行う。 (5) 幼稚園 P T A クラブ所属の保護者による歌、紙芝居、手話の発表後、特別支援学校の見学を行う。 (6) サツマイモの収穫に至るまでの作業を手伝っていただいたことに対する感謝の気持ちを込めて、特別支援学校の生徒と先生方を幼稚園に招待し焼き芋大会を行う。 (7) 幼稚園主催のすもう会に特別支援学校の生徒たちを招待する。
	実施方法	(1) 幼稚園から近い大阪教育大学附属平野小学校内の畑の空き地を借り、特別支援学校の生徒に手伝っていただきながら、草取りなどを経て畝作りを行う。 (2) (1)と同様、特別支援学校の生徒に手伝っていただきながら、サツマイモの苗付けを行う。 (3) 特別支援学校 P T A より招待状をいただき、幼稚園の親子が参加する。 (4) 幼稚園玄関ホールにてバザー一品を収集し、提供する。 (5) 幼稚園 P T A の音楽クラブ・おはなしクラブ・手話クラブ所属の保護者が特別支援学校に行き、歌・紙芝居・手話の発表を行う。 (6) 特別支援学校の生徒と先生方を幼稚園に招待し、収穫したサツマイモで焼き芋大会を園庭で行い、遊戯室では園児の合唱や互いの交流を深める。 (7) 幼稚園主催のすもう会に特別支援学校の生徒たちを招待し、力士との取り組みを観て一緒に応援するなど楽しい時間を共有する。
参加人数	在園児・在園児の保護者 各約 150 名	

	内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 特別支援学校の生徒と前年度までは大阪教育大学柏原キャンパス内の畑に苗付けを行い、その後は園児がお世話をするのができず収穫をしていたが、今年度より大阪教育大学附属平野小学校の畑で、特別支援学校の生徒に手伝っていただきながら草取りなどの作業を経て畝作りを行った。 (2) 特別支援学校の生徒に手伝っていただきながら、サツマイモの苗付けを行った。 (3) 招待状をいただき、特別支援学校PTA主催の夏祭り「タベのつどい」に幼稚園PTAの親子が参加し、スーパーボールすくいやスマートボールなどを楽しみ、軽食の販売などもあった。 (4) 特別支援学校PTA主催の「ふようバザー展」にて販売するバザー品の募集を行い、幼稚園の玄関ホールにてバザー品の回収を行い提供した。 (5) 幼稚園PTAの音楽クラブ・おはなしクラブ・手話クラブ所属の保護者が特別支援学校に行き、歌・紙芝居・手話の発表後、校内を見学させていただいた。 (6) サツマイモの畑作りから収穫に至るまで、特別支援学校の生徒たちに手伝っていただいた感謝の気持ちを込めて、幼稚園の焼き芋大会に招待した。サツマイモを洗い、ホイルで包む作業も特別支援学校の生徒に教えていただきながら、焚火を囲み焼き芋ができるまで見守り、一緒に焼き芋を園庭でいただいた。また、遊戯室では園児よりお礼の気持ちを伝え、一緒に歌い手遊びをした。 (7) 幼稚園主催のすもう会に特別支援学校の生徒たちを招待し、幼稚園遊戯室に土俵を作り、力士と取り組みを行い、観戦して応援するなど、楽しい時間を過ごした。
報告事項	結果	<ol style="list-style-type: none"> (1) 特別支援学校の生徒が丁寧に教えてくださったので、子どもたちも自然にお兄さんお姉さんを頼りにするなど、良い関係を保っていたようだ。 (2) 畝づくりから行っていたので、園児は苗付けにも意欲的に取り組み、特別支援学校の生徒に丁寧に指導していただいた。 (3) 幼稚園の親子数組が参加した。特別支援学校の生徒が各コーナーを担当していたので自然に園児も会話を交わし楽しんでいただけた。特にスーパーボールすくいやスマートボールは何度も挑戦し、特別支援学校の生徒が作った景品を貰い喜んでいただけた。 (4) 幼稚園でバザー品の募集を行い、多数の物品を提供することができた。 (5) 幼稚園PTAの各クラブが練習を重ね特別支援学校の生徒の前で歌・紙芝居・手話の発表を行い、生徒が興味深く観ている様子をうかがえた。その後、特別支援学校の副校長先生とPTA役員の方から案内と説明のもと校内施設を見学させていただき、普段生徒たちがどのような生活をしているかなどを知ることができた。 (6) 園庭で幼稚園PTAが焚火を起し、サツマイモを洗い、アルミホイルに包む作業を生徒に教えていただき焚火の中に入れた。焚火を囲み煙のにおいや火の温かさなどを感じながら焼き芋ができるのを楽しみに見守り、美味しく焼けた焼き芋と一緒にいただいた。また、遊戯室ではサツマイモのお世話をしてきた写真をスクリーンで見て、特別支援学校の生徒からはクイズをしていただき、園児よりお礼の気持ちを伝え、一緒に歌い手遊びをして楽しんだ。 (7) 特別支援学校の生徒を招待し力士と全員が実際に取り組みを行い、特別支援学校の生徒と共に観戦して応援した。特別支援学校の生徒と幼稚園の園児たちがそれぞれ力士に手作りのお土産を渡し、大変楽しい時間を過ごした。
	所感	<p>前年度までは、幼稚園から大阪教育大学柏原キャンパスの畑に苗付けと収穫のみを特別支援学校の生徒に手伝っていただきながら行っていた。今年度は近くの平野小学校でサツマイモの水やりなどのお世話もできたことで、更に特別支援学校の生徒との交流も深まり、サツマイモの生長を見守ることができたので良かった。その感謝の気持ちを伝えるため幼稚園の焼き芋大会に招待でき、お互いが自然に深く交流できたようだ。生徒の膝に座り焼き芋を食べる姿には保護者として感激した場面だった。</p> <p>特別支援学校に保護者が訪問する機会をいただき、保護者同士の交流ができて良かった。学校内を見学するだけでなく、生徒の生活内容も教えていただくことで理解が深まった。</p>

添付書類

報告書・収支決算書・領収書・参加者の声(児童・生徒分)・参加者の声(保護者分)・活動記録写真

カンガルーシップ活動共生プロジェクト 活動記録写真

大阪教育大学附属幼稚園

【焼き芋大会】



【PTA クラブ発表会】



【すもう会】



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成31年2月28日(再提出)
学校名	大阪教育大学附属幼稚園
学年	年長・年中

(1) 畑の草取り・畝作り

- ・草取りはしんどかったけど楽しかった。
- ・お兄さんお姉さんが優しく教えてくれて嬉しかった。

(2) サツマイモの苗付け

- ・この苗から本当にサツマイモができるのかな。
- ・土の中に苗を入れるのが難しかったけどお兄さんが来て教えてくれた。
- ・大きく育てて欲しい。

(3) タベのつどい

- ・スーパーボール救いが凄く楽しかった。
- ・欲しいスーパーボールがなくなってしまったけど先生が他のカッコいいボールをくれて嬉しかった。
- ・スマートボールが面白くて何回もした。お菓子も貰えて嬉しかった。

(6) 焼き芋大会

- ・凄く楽しかった。
- ・落ち葉を友だちと集めるのを頑張った。
- ・お兄さんお姉さんと遊んで楽しかった。
- ・大きいお芋があっぴゅりした。
- ・煙がくさかったけど、楽しかった。
- ・特別支援学校の先生が出してくれたクイズが楽しかった。

(7) すもう会

- ・負けたけど楽しかった。
- ・勝って嬉しかった。
- ・おすもうさんと給食も一緒に食べられて楽しかった。
- ・明日も来て欲しい。
- ・来年が楽しみ。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日 平成31年2月28日(再提出)

学校名 大阪教育大学附属幼稚園

(1) 畑の草取り・畝作り

- ・普段できない体験なので貴重な時間だった。
- ・特別支援学校の生徒さんが、頼もしくて子どもたちが頼りにしている姿が微笑ましかった。

(2) サツマイモの苗付け

- ・手を取って教えてくれるので心強かった。
- ・きめ細やかに見守っていただき、有難かった。
- ・二年前は大学の畑に苗付けをして、お世話などは全て特別支援学校の生徒さんたちに任せてしまっただけで申し訳ない気持ちでしたが、今年は幼稚園から近い畑を借りて水やりやサツマイモの育ち具合を見に行けるので、子どもは喜んでいました。

(3) タベのつどい

- ・特別支援学校の生徒さんたちが頑張ってゲームの声掛けや運営をされている姿が頼もしかった。
- ・子どものわがママを柔軟に対処してくださる特別支援学校PTAの方と先生、優しく見守ってくださる生徒さんに気持ちが和らぎました。自然に子どもと生徒さんが接し合えるのも、普段から交流の場をいただいているからだと思った。

(5) PTAクラブ発表会および学校見学

- ・幼稚園での発表と違い慣れない場所で緊張したが、特別支援学校の先生の温かい表情と生徒さんたちが真剣に聞いてくださって安心して発表できた。一緒に歌ってくれた時は凄く嬉しかった。
- ・どんな反応をしてくれるか凄く不安でしたが、掛け声をくれる子もいて嬉しかった。
- ・学校見学は貴重でした。特別支援学校の事を何も知らなかったのが、宿泊施設がある事も驚きました。先生が詳しく教えてくださったので、特別支援学校の事を少しでも理解でき、子どもたちとの交流に興味が高まりました。

(6) 焼き芋大会

- ・子どもが自分たちで育てたサツマイモを自慢気に見せてくれ可愛かった。
- ・特別支援学校のお兄さんの手を握り、遊びに誘っている子どもの自然な姿が印象的だった。
- ・特別支援学校の生徒さんたちに感謝しています。
- ・春から育ててきたサツマイモを一年通して焼き芋にして食べられるという貴重な経験は子どもにとって思い出に残ると思う。保護者にとっても、普段見る事ができない特別支援学校の生徒さんたちとの交流の場を見られて良かった。
- ・出来上がった焼き芋を、お兄さんの膝に座り一緒にいただく姿は感動的だった。いつも子どもたちに優しく接して下さっていたということが、その姿から伝わってきた。この交流はぜひ続けて欲しい。

(7) すもう会

- ・終始、子どもたちは楽しそうにできて良かった。
- ・力士との取り組みを、幼稚園の園児と特別支援学校の生徒全員が経験できて、また異学年の取り組みを観戦することで、子どもたちの意欲が増えて良かった。
- ・特別支援学校の生徒の取り組みも、必死に観戦し掛け声も出し応援していた。園児の表情は自然で、普段から交流しているためだと思った。
- ・力士を目の当たりにして、迫力に興奮する子どもたちが印象的だった。力士の見送りの際は、全園児が駆け付けて別れを惜んでいる姿がとてもかわいかった。今後も続けて欲しい。